

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) 防除対策マニュアル



令和6年（2024年）4月

滋 賀 県

スクミリンゴガイの被害を防ぐために

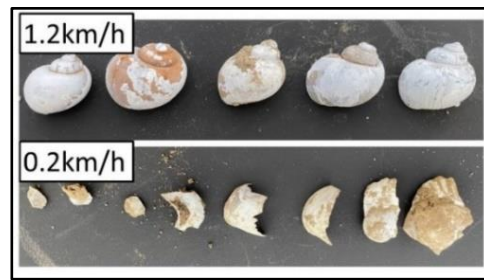
地域の実情に応じた防除技術を組み合わせて実践しましょう！

冬期耕うん

- ・厳冬期前（12月頃）にロータリ耕うんを行うことで、越冬のため土中（深さ6 cmまで）に潜っている貝を破碎できるとともに、寒風にさらして殺貝できます。
- ・ロータリの回転を速くし、走行速度をできる限り遅くすることで、貝の破碎効果が高まります。
- ・コンバインの旋回でできる凹凸部や畦畔際には、越冬のために潜っている貝が多い傾向にあるため、これらの場所は、特に丁寧に耕うんします。



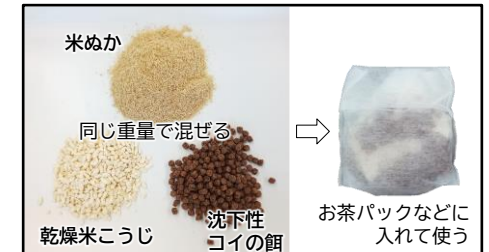
土から掘り出されたスクミリンゴガイ



冬期耕うんの速度による貝殻の破碎状況の違い

貝の捕殺・卵塊の除去

- ・ほ場内や水路の貝を網などで捕獲し、踏み潰すなどして殺貝します。
- ・餌を入れたトラップの設置によって、貝を捕獲することもできます。スクミリンゴガイ捕獲用に販売されているトラップもあります。
- ・『ミックス餌』（右図）をトラップに入れると、効率よく捕獲できます。スクミリンゴガイ以外の生物も捕獲されるので、回収時に逃がしてください。
- ・水路側面などに産卵されたピンク色の卵塊は、水中にそぎ落とすことで殺卵できます。
- ・取水口や排水口に9 mm程度の目合いのネットを設置することで、水路からの貝の侵入を防止できます。



トラップの餌として効果的な『ミックス餌』

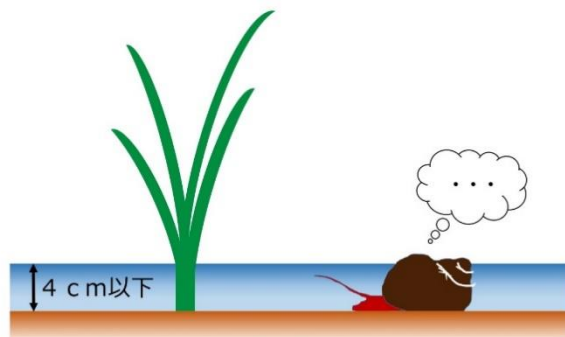


スクミリンゴガイの卵塊

※スクミリンゴガイは人体に有害な寄生虫を持っている場合があるため、素手では扱わないでください。

浅水管理

- ・移植後の水深を4 cm以下に保つことで、イネへの食害を抑制することができます。
- ・水深を均一に保つために、レーザーレベラー等を活用して、代かきまでに、ほ場の凹凸をなくしておきます。
- ・浅水管理期間の目安は、移植直後～移植3週間後までとします。



農薬散布

- ・移植直後と移植4週間後(分けつ初期)に、誘殺効果のある農薬を散布することで、イネへの食害を防止できます。

【農薬例(令和6年3月31日現在の登録内容による)】

- ・ジャンボたにしくん
(メタアルデヒド粒剤)
- ・スクミノン
(メタアルデヒド粒剤)
- ・スクミンバイト3
(磷酸第二鉄粒剤)



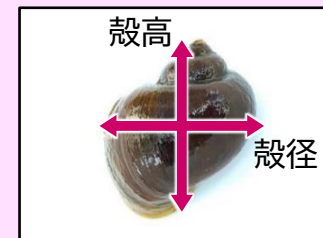
移植直後のイネ苗を食害するスクミリンゴガイ

その他の農薬については、滋賀県農作物病害虫雑草防除基準を参照してください。また、農薬を使用する際は、ラベルの記載事項を遵守してください。

スクミリンゴガイと在来タニシ類の見分け方

スクミリンゴガイ

- ・らせん上部が短く、殻高と殻径がほぼ同じ



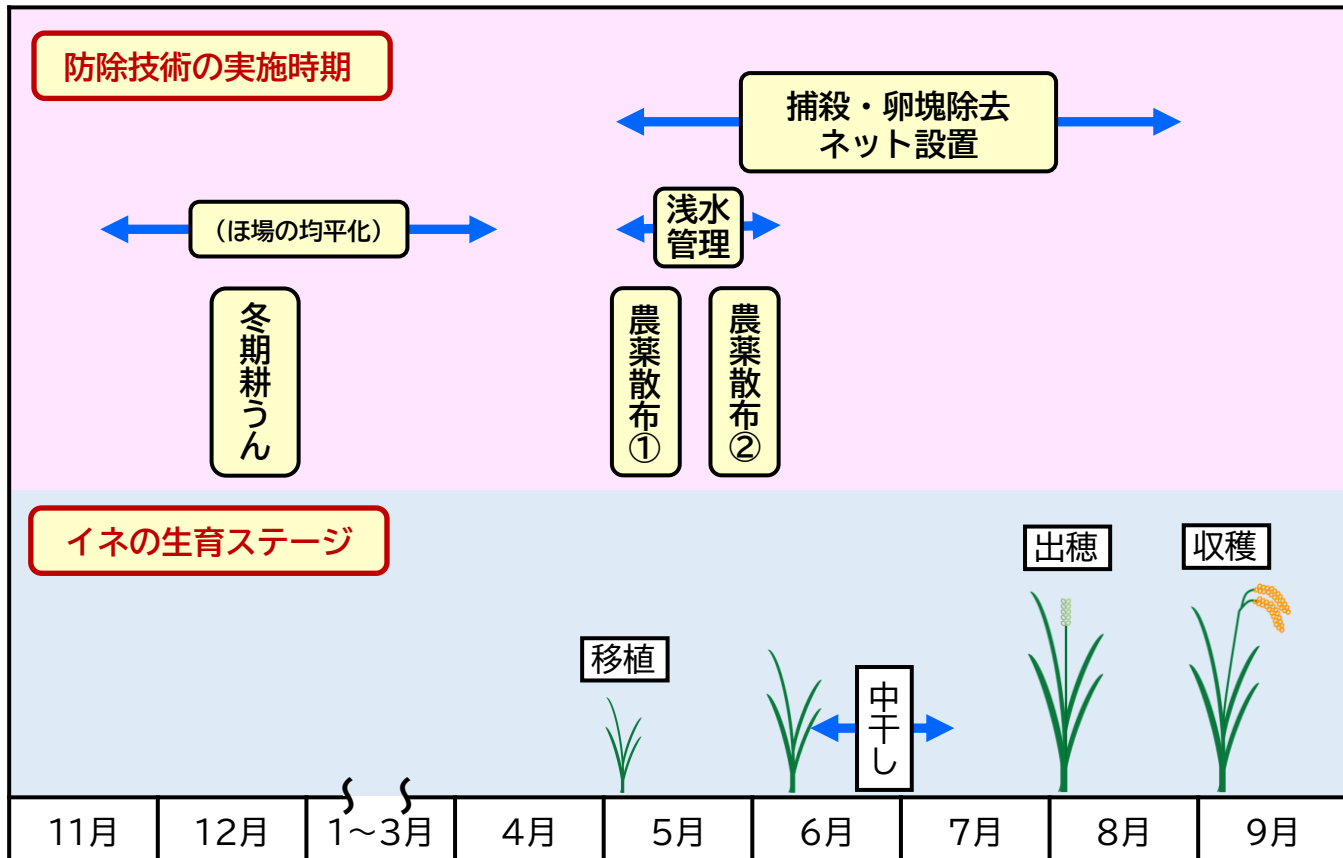
- ・殻は薄く割れやすい
- ・触角が長く、赤みを帯びている

在来タニシ類

- ・らせん上部が長い



- ・殻は硬い
- ・触角が短く、黒い



スクミリンゴガイの生態や防除法について、より詳しい情報は下記をご参照ください。

- ・農林水産省発行「スクミリンゴガイ防除対策マニュアル（移植水稻）」
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/sukumi/sukumi.html>
- ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）作成
「スクミリンゴガイの防除支援マニュアル」ウェブサイト
<https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/applesnail/>



スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ） 防除対策マニュアル

初版 令和4年（2022年）3月発行

第2版 令和6年（2024年）4月改訂

【発行元】

滋賀県病害虫防除所 ・ 滋賀県農業技術振興センター 環境研究部

TEL:0748-46-4926 E-mail: gc70@pref.shiga.lg.jp

滋賀県農政水産部みらいの農業振興課

TEL:077-528-3842 E-mail: gc00@pref.shiga.lg.jp

表紙写真 上 段：スクミリンゴガイ成貝

下段左：スクミリンゴガイの食害を受けたほ場

下段右：排水ますに産卵されたスクミリンゴガイの卵塊

○本マニュアルは、令和3年度病害虫の効率的防除体制の再編委託事業（スクミリンゴガイの総合的防除体系の確立）により作成しました

○一部技術の試験に当たっては、生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業（JPJ007097）」の支援を受けました